

R8 伏見中学校区 小中一貫した教育グランドデザイン

伏見中学校 伏見小学校 幌西小学校

3校が目指す子どもの姿や、育成するための具体的な取組を交流・共有し、教職員同士が連携・協働しながら教育活動を推進することで、子どもの継続的な成長を支えていく。

伏見小学校

- ・健康で豊かな情操をもつ子ども
- ・責任をもち自ら努力する子ども
- ・個性を伸ばし創造性豊かな子ども

伏見中学校

- ・豊かな心を育む
- ・自ら学びを考える力を高める
- ・自律の心と健やかな体をつくる

幌西小学校

- ・健康で強い体の子ども
- ・進んで正しい考えで行動する子ども
- ・責任をもって仲良く協力する子ども
- ・相手を思いやるあたたかい心の子ども
- ・よいことを工夫して行える子ども

小中一貫を支える2つの重点と4つの柱

重点1：AARサイクルの視点で捉え直した「課題探究的な学習」

重点2：9年間を見通した「継続的な子ども理解と系統的な支援」

①9年間を通した子どもの学びのつながり

- ・各校のカリキュラムを生かし「つながり」の場を設定
- ・9年間を見通した教育課程（カリキュラム）の編成と実践の共有

②教職員の連携・協働

- ・校種を越えて協働的に学ぶ、持続可能な推進体制の構築
- ・ICTを活用した情報共有

伏見中学校区で目指す15歳の子ども像

心豊かで健やかな体を持ち、未来に向かって創造的に考え、主体的に行動する子ども

③家庭や地域との関わり

- ・学校・家庭・地域が一体となった体制の実現
- ・コミュニティ・スクールを見据えた地域・教育力の活用

④子ども理解・生徒指導の連続性

- ・小中一貫した学習規律や生活ルールの共通理解と、落ち着いた学習環境の形成
- ・特別な支援を必要とする子への、小中が連携した組織的な対応

具体的な取組

<9年間の学びのつながり>

- ・札教研春の研究集会での実践共有（6月）
- ・冬の小中合同研修会（1月）
- ・中2による小6児童への学校ガイダンス（2月）

<子ども理解・生徒指導の連続性>

- ・公開授業テーマに基づく実践交流
- ・授業公開日の子ども観察や行事への参加（随時）
- ・中学校新入学生徒の円滑な引継ぎ（3月）

<教職員の連携・協働>

- ・札教研パートナー部会
- ・ICTを活用した情報共有
- ・春の研究集会や合同研修会を通じた専門性の向上

<家庭・地域との関わり>

- ・学校便りやホームページを活用した理念の共有と開かれた学校づくり
- ・学習や学校行事に、地域の教育力を生かすカリキュラムの作成
- ・小中音楽交流会（11月）